

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年2月分)

平成28年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH 連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
 - (1) 国際機関、フォーラム
 - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公的事業
 - (3) 支援、援助
 - (4) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりとまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● 民主行動党(SDA)及び「より良き将来のための同盟(SBB)」が連立関係の継続を表明(1日)

1月25日にラドンチッチSBB党首が逮捕されたことを受け、SDA及びSBBは両党間の会合を行い、連立継続の意思を表明した。

● ズビズディッチBH閣僚評議会議長(首相)が、EU加盟に関する調整メカニズムが採択済みであることを発表(10日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、BH閣僚評議会が、1月26日に、EU加盟プロセスの調整メカニズムの設置に関する決議を全

会一致によって採択していたことを発表した。同決議は、9日にBH官報に掲載された。

決議によると、同調整メカニズムは、最高位の意思決定機関として、BH閣僚評議会首相、BH閣僚評議会副首相2名、BH連邦首相、RS首相、BH連邦各カントン首相10名及びブルチュコ特別区長で構成される「コレギウム」を設ける。そのほか、閣僚会議、欧州統合委員会、補助委員会及び作業部会が調整メカニズム内に設置される。

● BH裁判所がラドンチッチ容疑者(SBB党首)等に対するBH検察庁による刑事訴追を受理(15日)

BH裁判所は、ラドンチッチ容疑者(SBB党首)含む4名に対する、共謀及び司法妨害等

の疑いによるBH検察庁による起訴を受理した。

17日、BH裁判所は、BH検察庁によるラドンチッチ容疑者の拘留延長の訴えを退け、同容疑者を拘留から釈放し、自宅軟禁に処する決定を下した。

●BH裁判所がペンデシュBH国防相について第一審で無罪を判決言い渡し(25日)

ペンデシュBH国防相が、自身の補佐官の勤務記録を操作して不正に恩恵を与えたとして、職務怠慢及び公文書偽造の罪に問われていたことに関して、BH裁判所は無罪判決を言い渡した。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦憲法裁判所が「BH連邦労働法」の採択手続が違憲であったと判決(23日)

BH憲法裁判所は、15年7月30日にBH連邦上院が「BH連邦労働法」を採択した際に、議会手続規則に違反したことで、他の議員らの憲法上の権利を奪ったとして、同法律を審議に差し戻す判決を下した。

●ドゥノビッチBH連邦副大統領が、15年6月15日から10月28日までのBH連邦政府の活動について、BH連邦憲法裁判所に審査を申し立て(25日)

ドゥノビッチBH連邦副大統領は、バイロビッチ元BH連邦エネルギー・鉱業・産業相が辞任した15年6月15日から後任が任命された10月28日までの期間、BH連邦政府の民族構成が憲法上の要件を満たしていなかったとして、同期間におけるBH連邦政府の決定についてBH連邦憲法裁判所に違憲性の審査を申

立てた。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ドディックRS大統領が、国家司法に関するRS住民投票の「保留」を発表(8日)

バニャ・ルカにおいて、ドディックRS大統領は、BH検察庁及びBH裁判所に関するRS住民投票について、RS内与野党が合意に至るまでの期間、「保留」することを発表した。

●ドディックRS大統領が、「警察及び内務に関するRS法案」をRS国民議会による審議に差し戻す(8日)

「警察及び内務に関するRS法案」は、既にRS国民議会及びRS民族評議会の両院において採択されていた。

ドディックRS大統領は、同法案において、RS内務省の非雇用者の民族構成を91年の国勢調査結果と合わせるべきとする規定について異議を唱えている。

2. 外政

(1)国際機関、フォーラム

●チョービッチBH大統領評議会議長がEU加盟申請を提出(15日)

チョービッチBH大統領評議会議長は、ブリュッセルにおいて、BHのEU加盟申請をEU理事会議長国であるオランダのクーンデルス外相に対して提出した。提出時には、モゲリーニEU外務・安全保障政策担当上級代表とハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員も同席した。

チョービッチBH大統領評議会議長は、提出時、BHは信頼性のあるEU加盟候補申請を提出するための条件を達成したと述べた。

(2)要人往来、国際会議等

●チョービッチBH大統領評議会議長のクロアチア訪問、キタロビッチ・クロアチア大統領と、オレシュコビッチ・クロアチア首相及びレイネル・クロアチア議会議長と会談(2日)

キタロビッチ・クロアチア大統領は、チョービッチBH大統領評議会議長との朝食会談の中で、BHがEU加盟申請を提出する日程を確定したことを歓迎し、BHのEU加盟に向けて全力で支援すると表明した。また、両名は、憲法的原則を尊重した上で、選挙法改正に向けて政治的合意が得られれば、BHの信頼性を高めるであろうことに同意した。

チョービッチBH大統領評議会議長は、オレシュコビッチ・クロアチア首相及びレイネル・クロアチア議会議長との会談において、両名に就任の祝辞を伝えた。オレシュコビッチ首相及びレイネル議長は、BHがEU加盟に向けて強い一歩を踏み出したことを歓迎し、平等な主要3民族による国家として、BHはいつでもクロアチアによる支援を受けることができると伝えた。

会談では、特に農業分野における両国間の関係強化によって経済的安定性の向上が可能と表明された。また、会談参加者は、両国政府による共同閣議が、関係強化を促進するとの考えを示した。

●クルツ・オーストリア外相のBH訪問、BH大統領評議会との会談(8日)

両者は、BHとオーストリアは、伝統的に良い関係を維持しており、両国間に懸案事項がないことを確認した。

クルツ・オーストリア外相からは、オーストリアは、西バルカン諸国、特にBHのEU加盟を支持していることを伝え、BHが改革プロセス

を継続することの必要性を訴えた。BH大統領評議会は、EU加盟に向けたコミットメントを強く表明した。

●チョービッチBH大統領評議会議長が、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員及びライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当相とブリュッセルにおいてそれぞれ会談(15日)

ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員は、同日のEU加盟申請の提出について、BHにとって記念すべき日となったと述べ、EU加盟に向けてBHはEUの支援を頼りに出来ると述べた。ハーン欧州委員は、調整メカニズム設置の採択を歓迎し、その履行が非常に重要であると指摘した。

チョービッチBH大統領評議会議長とライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当相の会談で、チョービッチBH大統領評議会議長は、EU加盟申請の提出により、BHは大きな責任を抱え、経済及び他の課題を含む問題の解決を進めると述べた。ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当相は、BHの進展を歓迎し、スロバキアはBHのEU加盟に向けて必要な支援を継続すると伝えた。スロバキアは、16年7月以降の半年、EU理事会の議長国を務める。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が、ロンドンにおけるEBRD西バルカン投資首脳会議に出席(22日)

EBRD西バルカン投資首脳会議には、BHのほか、アルバニア、セルビア、クロアチア、モンテネグロ、マケドニア及びコソボから政府首脳が出席した。

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、その

演説の中で、域内諸国をつなげる上で、運輸及びエネルギー分野、特にBHを通過するアドリア・イオニア高速道路及びアドリア・イオニア・ガス・パイプライン事業の重要性を強調した。また、高速道路「Vc」の建設がBHの優先事業の一つであると述べた。また、エネルギー分野においては、BHがセルビア及びモンテネグロの相互連結プロジェクトに参加した。これにより、ルーマニア及びブルガリアや、海中を通じてイタリアと送電網が通じることとなる、と述べた。

3. 経済

(1) 経済指標

●GDP(予測)

欧州復興開発銀行(EBRD)は、その報告書の中で16年のBHのGDP成長率を3%と予測。

ソフティッチBH中央銀行頭取は、16年のGDP成長率が2.3%から3.1%の範囲となると予測した。

●雇用/失業者数

BH統計局の発表によると、15年12月のBH全体の雇用者数は715,425人。15年11月の失業者数は537,568人で失業率は42.9%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、15年12月のBHにおける平均給与は842KMで、前月比2.0%増だった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年1月は、1

5年12月と比較して、消費者物価指数は平均で0.2%上昇。年間比較では、平均0.8%下落した。

●銀行部門

BH中央銀行によると、15年末にBH国内の銀行が提供していた融資総額は173億KM(約88億4,500万ユーロ)で、14年と比較して2.4%の上昇。国内銀行への預金総額は165億3,000万KM(約84億5,200万ユーロ)で、14年と比較して7.5%の上昇。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月のBHの輸出額は6億3,100万KM(約3億2,300万ユーロ)、15年同時期と比較して2.8%減)、輸入額は9億1,400万KM(約4億6,700万ユーロ)、14年同時期と比較して7.0%減)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月):

①ドイツ(1億1,570万KM/約5,920万ユーロ)、②イタリア(9,390万KM/約4,800万ユーロ)、③クロアチア(5,430万KM/約2,780万ユーロ)、④オーストリア(5,260万KM/約2,690万ユーロ)、⑤セルビア(3,620万KM/約1,850万ユーロ) 参考:日本(97,000KM/約49,600ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月):

①ドイツ(1億1,370万KM/約5,810万ユーロ)、②イタリア(1億880万KM/約5,560万ユーロ)、③セルビア(1億390万KM/約5,310万ユーロ)、④クロアチア(8,570万KM/約4,380万ユーロ)、⑤中国(6,780万KM/約3,470万ユーロ) 参考:日本(554万KM/約280万ユーロ)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国に

よる算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、15年中、BHにはのべ約103万人(うち日本からは6,759人)の観光客が訪れ、前年比21.5%増となった。

●公的債務

中央銀行の統計によると、15年中にBHは新たに7億5,000万KM(約3億8,300万ユーロ)の債務を計上した。08年以降で、公的債務は70億KM(約35億7,900万ユーロ)増加し、119億KM(約60億8,400万ユーロ)に達している。

IMF、世銀及び欧州投資銀行からの融資を含む対外債務は、86億9,000万KM(約44億4,300万ユーロ)に到達し、08年以降で35億KM(約17億9,000万ユーロ)増加した。

(2)経済政策、公的事業

●ボスナ川流域のブランドゥク水力発電所建設事業が開始(9日)

20年に完成予定のブランドゥク水力発電所建設事業(1億1,250万KM(約5,750万ユーロ)相当)が開始された。契約業者はオーストリア「Strabag」社とクロアチア「Koncar」社による協同ベンチャー。電力供給公社「Elektroprivreda BiH」社は、2,200万KM(約1,100万ユーロ)を自己資金で調達し、残りは欧州の金融機関から融資を受ける。

●間接税庁運営委員会が一部物品の消費税引上げに合意(16日)

間接税庁運営委員会は、石油及び石油製

品、ガス、アルコール飲料の消費税引き上げを含む、「消費税に関するBH法改正案」を採択した。

●外国投資促進庁(FIPA)が、BHにおける外国投資の現状について言及(22日)

FIPAは、BHがエネルギー分野において最大100億ユーロ相当の投資を呼び込むことが可能と述べた。BHに対する外国投資に関する最新の公式記録によると、外国投資の36%は生産分野に向けられており、これに銀行分野(20%)、通信分野(14%)、貿易分野(11%)が続き、観光分野に対しては2%に留まっている。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が、高速道路建設に関して、欧州復興開発銀行(EBRD)からの融資に合意したと報告(25日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、ロンドンでのEBRD西バルカン投資首脳会議において、高速道路の建設に関してEBRDから3億ユーロの融資を受けることに合意したと記者会見で伝えた。

●IMFがRS政府に対して「Srpska banka」銀行の解体を要請(26日)

IMFは、新規融資提供の条件として「Srpska banka」銀行の解体を要求しているとウェブポータル「Capital」が報じた。記事によると、RS政府は、同銀行が、RS郵便局との協力のもと、金融仲介及び支払取引のみを行うかたちで業務を継続することでIMFとの合意に達成することを目指して交渉を行っている。

●パロディIMF・BHミッション代表がBHとの交渉が最終段階に入ったと発言(29日)

パロディIMF・BHミッション代表は、この数カ月でBHとの交渉は大きく進展しており、10億KM(約5億1,100万ユーロ)相当の融資に関する協議は最終段階にあると述べた。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が、改革アジェンダの履行状況について言及(29日)

BH議会上院に対する改革アジェンダに関する行動計画履行状況に関する報告の中で、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、BH閣僚評議会レベルの取組として、想定されている33項目の措置のうち、17項目が、過去6カ月の間に履行されていると述べた。同人によると、RS政府及びBH連邦政府は、同時期において改革アジェンダの25%から38%を履行した。

●トウズラ第7火力発電所建設事業に関して、為替に関する中国企業との交渉が妥結(29日)

15億KM(約7億6,700万ユーロ)相当の、BH紛争以降最大の投資案件であるトウズラ第7火力発電所の建設事業に関して、「Elektroprivreda BiH」社と落札業者である中国「Gezhouba Group Co.」社の間で、為替リスクに関する協議が6カ月間にわたり行われていたところ、本件が解決したと「Elektroprivreda BiH」社が発表した。同協議は、融資がドル建てで行われる一方、契約がユーロ建てで行われたことに起因する。協議の結果、融資をユーロ建てに切り替えることが合意された。

ヤシャレビッチ「Elektroprivreda BiH」社ジェネラル・マネージャーは、現在融資の返済期間について交渉を行っていることに言及した。

一方、ジンディッチBH連邦エネルギー・鉱

業・産業相は、3月前半で残る問題が解決されなければ、BH連邦政府は新たな契約相手を模索すると述べた。

(3)支援、援助

●EUによる洪水復興プログラムの成果報告(16日)

EU洪水復興プログラムの最終アドバイザー・パネルが行われ、復興支援プログラムにより、61万人以上の人々が裨益したと報告された。

EUは、住居再建、公共サービス、コミュニティ設備及び経済復興のため、4,224万ユーロをBHに提供した。

(4)民間企業

●「16年経済自由度数」で、BHは108位、「やや不自由」の評価(1日)

ヘリテージ財団及びウォール・ストリート・ジャーナル紙が作成した「16年経済自由度数」において、BHの経済自由度数は58.6ポイント(0.4ポイント減)で第108位となり、経済自由度の評価は「やや不自由」となった。「通貨の自由度」及び「貿易の自由度」における評価が比較的高い一方、「法の支配」及び「財政支出管理」において懸念が残る評価となった。

●「Capital Group A.S.」社が、BHにおける太陽光発電事業に3億KMを投資する意向を示す(10日)

イスタンブールを拠点とする「Capital Group A.S.」社の Sahin 社長がFIPAを訪れ、3億KM相当の太陽光発電事業や、観光及び農業分野における事業等の投資計画について協議を行った。

●スタナリ火力発電所による発電量の大部分は近隣国市場に輸出される予定(11日)

スタナリ火力発電所が発電した電力の大部分は、電力が不足している近隣国に輸出される計画があることが、事業主体である「EFT Rudnik i Termoelektrana Stanari」社によって発表された。

●ムーディーズ社による格付けで、BHは「B3」と評価(29日)

ムーディーズ社による格付けによると、BHは「B3」の評価となった。見通しは安定。

格付け評価の要素として、①成長に向けた構造的障害の除去において進展が遅いことに反映されるように、BHの経済的強度は低く、収入レベルはEU平均のはるか下が維持されている、②BHの複雑な政治システムが、政府の効率性に影響を与え、制度的強度を低く保っている、③譲歩的な債権者による穏やかな債務荷重は、財務的強度を助けているが、外部資金へのアクセスが限られているため、BHは公的支援に依存する状態が続いている、④政治的イベントによるリスクを高く留める継続的な政治不安、が挙げられた。

見通しの安定性に関しては、改革アジェンダを履行することでIMFからの財政的及び技術的支援を得られるとの予測に依拠している。

(了)